

# 中国語の環

第128号

『中国語の環』編集室編 2025年1月

- 目次 10 **巻頭エッセイ** 複合方向補語“过来/过去”の通過点
- 11 **中国語でどういう?** ほんの気持ちで
- 12 **例文で説き(=解き)ほぐす中国語文法**  
Lesson 12 ベアを求めて…(その5)
- 13 **語彙学習の話** 字母詞について
- 14 **紛らわしい文法表現** “你还是去吧”と“还是你去吧”
- 16 **看图学汉语** 他们是做什么工作的?
- 18 **中国語と文化** いじくられる三蔵法師
- 19 **中国語の文法は面白い** 中国語の形容詞命令文(3)
- 20 **読者の広場** “往右拐”をもう一度

## ひとことエッセイ

“卧薪尝胆”という成語はそのまま「臥薪嘗胆」として日本語でもよく使われるが、この成語の誕生は意外に新しい。春秋末期、越王・勾踐に父を討たれた呉王・夫差は薪の上に臥して身を苦しめ復讐心を燃やし仇を報いた。敗れた勾踐は傍らに苦い胆を置いて坐臥するたびにこれを舐めて敗戦の恥辱を思い出し再起を誓ったという。

勾踐「嘗胆」の故事は古く司馬遷の『史記』(前漢)や『呉越春秋』(後漢)に見えるが、夫差の「臥薪」は元代に編まれた『十八史略』に初めて見える。これより先、宋代の詩人・蘇東坡がその詩中で「臥薪」と「嘗胆」を組み合わせて“卧薪尝胆”という熟語を初めて用いている。《汉语大词典》は『宋史』中の例も挙げているが、『宋史』が編まれたのは元代であるから、“卧薪尝胆”の初出は蘇東坡ということになる。

手元の台北刊『多用成語辞典』は『呉越春秋』を出処として「越勾踐、臥薪嘗胆欲報呉」なる一文を引いているが、『呉越春秋』にそういう記述は見当たらない。『十八史略』の夫差「臥薪」説も怪しいが、こちらはもっと怪しい。(上野 恵司)

発行 一般財団法人日本中国語検定協会

本誌掲載の記事、写真、イラスト等を無断で複製・  
複写・転載することを禁じます。

## 複合方向補語“过来/过去”の通過点

加納 希美（金沢大学）

「bicycleのbiは2で、cycleは輪っかのことなんだよ。自転車は車輪が2つでしょ。」かつて、英単語の暗記に苦戦していた私に、高校の英語教師だった父はこんなふう  
に説明してくれました。語の成り立ちが分かってみると、スッと腑に落ちて綴りも  
覚えやすく感じられたものです。中国語学習においても、語句の意味や用法を揺る  
ぎない知識として定着させるには、根底の原理や関連する表現との繋がりを理解す  
ることが有益です。その一助となることを期して、複合方向補語“过来/过去”の  
基本義と派生義の関係を取り上げてみます。

まず基本義については、「何らかの基準点を通過して来る（/行く）」としておき  
ます。向こう岸まで橋を通過して行く場合のように、通過する物は点とは限りませ  
んが、後で見る派生義との関連から、ひとまず「卓球のネット」とか「立ち木」の  
ように、瞬時に通過できる点的で可視的な事物を基本的な通過の基準点とします。  
“小猫从门口跑过来了”の場合、“门口”（入口/出口）が基準点です。では、“有人  
向我走过来了”の場合、何を通過するのでしょうか。杉村博文先生の説（「中国語  
における「むこう」と「こちら」の諸相」、大河内康憲編『日本語と中国語の対照  
研究論文集（上）』p.153-180、くろしお出版、1992年）では、むこう側とこちら側  
の間に心理的に設定される「境界」であるとしています。この説に基づく、基準  
点が不可視的な“过来/过去”の使用例の多くを無理なく理解できます。

例えば気を失うことをいう“昏过去”は、「正常→異常」の変化として説明され  
ることもあり、表面的にはその通りなのですが、更に突き詰めると、結局は心理的  
に近くあって、意識的に手を下して対処しうる正常な世界（こちら）から、遠く  
にあって意識も手も届かない異常な世界（むこう）への越境として説明可能です。  
興味深いのは、中国語の指示詞においても2項対立的で、話し手に近い領域や事物  
を指すには“这”系、それ以外は“那”系が対応します。方向補語と指示詞の用法  
に、中国語話者の一貫した世界観を見ることができそうです。

なお、裏向きの問題用紙の印刷面を表にすることをいう場合には“把卷子翻过来”  
を、反対に、印刷面を裏向きに伏せる場合には“把卷子扣过去”を用います。杉村  
先生の説では、“回过头去”等の例について“面がこちらに向く”ことが“过来”  
で示され……“面がむこうを向く”ことが“过去”で示されるとした上で、表にする、  
裏にする、という時も同様に考えてよい、とされています。この種の表現を更にか  
み砕いて解釈するなら、目の届かない領域（むこう）から目の届く領域（こちら）  
へ顔面や印刷面が移行してきたも同然、とする見立ての反映ともいえます。

“过来/过去”の派生義をこのように不可視的な基準点の通過として仮定してみ  
ると、基本義との繋がりがより鮮明に捉えられるのではないのでしょうか。

## ほんの気持ちで

張 勤 (中京大学)

初級で“意思”という語を「意味」「内容」として習うが、実は気持ちや意図などの意味もあり、口頭で好んで使われ、日本語の発想ではなかなか把握しきれない。ネットのダジャレ会話で、その複雑な使い方を見ていこう。

A: 师傅, 过节好! 给, 一点儿①小意思。(親方, 祝日, 元気? これ, ちょっとした気持ちで。)

① “小意思”: 寸志; なんでもないこと。

B: 我跟你谁和谁呀, 你这是什么②意思啊? (俺たちの仲だから, そんなに気を使わなくていいんだよ, それはどうしたの?)

② “意思”: 意味; 考え; 意図。

A: 没什么②意思。过节我就是想③意思意思。(別に。祝日だから, ちょっと気持ちを表したいだけ。)

③ “意思”: (よく“意思意思”で) ほんの気持ちを表す。形式的に何か示す。

B: 嗯, 你这可就④没意思了啊。(うん, そんなに気を使われたら, しらけるよ。)

④ “有意思” / “没(有)意思”: 興味・面白みがある/ない。

A: ①小意思小意思。师傅, 我没别的②意思。(ほんの気持ちだけだから, 親方, 他の意味がありませんよ。)

B: 那你打个电话③意思意思就行了, 干嘛还特意…… (そんなら電話でもして話だけすればいいのに, そりゃまたどうしてわざわざ…)

A: 那多不⑤够意思啊! 就一个电话, 我可⑥不好意思。(それじゃなんと失礼でしょ。電話一つだけじゃ気が引けるんですよ。)

⑤ “够意思” / “不够意思”: 情義がある/ない; みごとだ/みごとでない。

⑥ “不好意思”: 恥ずかしい; 厚かましくて…できない。

B: 我这徒弟可真④有意思啊。⑤够意思! (俺の弟子はなかなか感じがいい。思いやりがあるんだ)

A: 本想请您来家里吃饭的, 看您很忙, 没来的⑦意思, 我就…… (家に食事を招待したかったのですが, お忙しくて来られなさそうなので, そこで…)

⑦ “意思”: 兆し; 気配。

B: 哈哈, 好! 那我就⑧不好意思了啊。(はは, 分かった! じゃあ, 気を使わせてしまっごめんね。)

⑧ “不好意思”: (⑥の慣用で) 申し訳ない; 失礼する。

A: 您是师傅, 没什么⑥不好意思的啊。(親方だから気を使うことはありません。)

B: 好, 你的②意思我明白了, 多谢啊! (分かった, 気持ちは受け取ったよ。ありがとう!)

## Lesson12 ペアを求めて…（その5）

古川 裕（大阪大学）

この連載では、単独＝シングルでは不自然な表現も、ペア＝ダブルになると安定して自然になるという興味深い現象を取り上げています。今回は「前：后」「上：下」「左：右」「里：外」…のような空間表現の反義語ペアや「鼻子：眼睛」「手：脚」のような身体部位がペアになって安定する実例を見ました。今回も引き続き中国語ではどのようなペア（対・つい）が成立するか観察してみましょう。

ペアを組む二つの字や語句の間柄は、意味的に見ると、同義・近義・類義関係のものと同義関係のもの2種類があります。たとえば、「頭」（頭）とペアになるのは「脳」（脳）や「脸」，“面”（顔）のような近い関係にある身体部位か、「尾」（しっぽ）や「脚」（あしもと）のように反対の関係にある身体部位です。

(1)近義関係 [頭：脳] 摇头晃脑 [頭：脸] 有头有脸 [頭：面] 改头换面

(2)反義関係 [頭：尾] 从头到尾 [頭：脚] 头痛医头脚痛医脚

近義と反義という二つの関係性を押さえておけば、何と何がペアを組むのかが理解しやすくなります。たとえば、名詞で“天”“山”“風”のペアは何でしょうか？ また、形容詞の“长”や“大”，動詞の“说”“想”“死”と相性が良いペアは何でしょうか？ それぞれ下の例のように近義や反義の語とペアを組んで安定します。

### (3)名詞

反義ペア [天：地] 天翻地覆、惊天动地、天不怕地不怕

反義ペア [山：海] 人山人海、排山倒海、山珍海味

反義ペア [山：水] 山明水秀、山穷水尽、山高水长

近義ペア [风：雨] 风调雨顺、狂风暴雨、风里来雨里去

### (4)形容詞

反義ペア [长：短] 说长道短、天长日久、日久天长

近義ペア [长：久] 天长地久、惊天动地、天不怕地不怕

反義ペア [大：小] 大惊小怪、大街小巷、雷声大雨点小

同義ペア [大：大] 大手大脚、大红大绿、大吃大喝、大鱼大肉

近義ペア [粗：大] 粗手大脚、粗心大意、粗声大气

### (5)動詞

近義ペア [说：道] 说三道四、胡说八道、说一千道一万

近義ペア [思：想] 思前想后、冥思苦想、胡思乱想

反義ペア [死：活] 死去活来、死说活说、你死我活

反義や近義でペアになる字どうしは、多くの場合、二文字合わさると“天地”“山水”“风雨”“长短”“长久”“大小”“粗大”“说道”“思想”“死活”のように一つの単語にもなります。離れたり合わさったり、これらも一種の離合詞と言えそうです。

## 字母詞について

沈 国威（浙江工商大学）

SNSをはじめ、中国のメディアを賑わしているアルファベット混じりの語は「字母詞」と呼ばれる。字母詞には、語形の上では、大きく分けてDNA、COEのようなアルファベットのみのもものと、AA制、U盤のようなアルファベット+漢字のものがある（「阿Q、卡拉OK」のような漢字で始まるものはごくわずかである）。前者は国際機関、組織、制度などの名称が多いが、英語に基づくもの以外に、例えばRMB=“人民币”（人民元）、HSK=“汉语水平考试”（中国語レベル試験）、PSC=“普通话水平测试”（共通語レベル試験）などのように中国語ピンインの略語もある。

いっぽう、後者のAA制のような語はむしろ漢字の分類機能を最大限に利用している例と言えよう。前号に書いたように、現代中国語において複合語の後部要素は、事物を分類する機能を持っており、これによって急増した新語を整理整頓し、語彙体系に編入しているのである。もう少し例を挙げておこう。

**A股、B超、BP机、POS机、T恤衫、3K党、SIM卡、UP主、X光**

字母詞は、国際化によってもたらされた現象と言われるが、国際的な新概念を翻訳せずに自言語に取り入れることができる手軽さから特に変動の激しい政治経済、科学技術の分野で頻繁に使用されている。またスポーツ、ファッションなどの分野で新奇さや流行を追求する人たちが好んで多用する。しかしまさに“**有一利必有一弊**”ということわざが教えてくれるように、字母詞は専門的な概念を簡潔に表現でき、コミュニケーションの効率を高めることができる反面、いくつかの弊害も指摘されている。最も批判が多いのは意味の難解さである。特に年輩者や英語が不得手な人たちにとって正確に意味を把握しにくいという点である（日本の国立国語研究所が進めたカタカナ語の言い換えの研究も問題意識としては同じである）。加えて中国独特の使い方や流行があるので、英語の知識だけでは正しい理解が得られない場合がある。筆者も長い間、HRやPUAの意味がわからなかった。前者はヒューマンリソース（Human Resources）の略で、中国では特に人事部門を指し、後者はナンパの達人（Pick Up Artist）という意味であったが、最近はネット上で人を精神的にいじめる現象という意味に変わったようである。例えば“**教育部门呼吁认清PUA的负面影响，对PUA说不。**”（教育部門はPUAの負の影響を認識し、PUAにノーと言おうと呼びかけている）というような例を目にする。字母詞は言語規範化の論争も引き起こしている。濫用を正し、中国語の純潔さを守ろうという主張が絶えない。SNSなどで字母詞は急増し、乱用されている印象が強いが、《現代汉语词典》（第7版、2016年）では巻末に“**西文字母开头的词语**”（アルファベットで始まる語）という分類で235語が収録されており、第6版（2012年）の239語から増減があつて、落ち着きを見せている。言語の変化には人力が及ばないところがあるかもしれない。

## “你还是去吧”と“还是你去吧”

魯 曉琨 (文京学院大学)

“你还是去吧”と“还是你去吧”は“还是”の文中での位置が違います。この違いによって二文の意味も使う場面も異なります。

(1)你还是去吧。(あなたはやはり行ったほうがいいです。)

(2)还是你去吧。(やはりあなたが行った方がいいです。)

例(1)の“还是”は述語“去”にかかり、行くか否かの話の中で、“去”を勧めています。例(2)の“还是”は主語“你”にかかり、誰が行くかの話の中で、他の人を排除し、“你”を勧めています。つまり、“还是”は主語の後に置かれると、述語にフォーカスを当てるのに対し、主語の前に置かれると、主語にフォーカスを当てるのです。そして“还是”の文中における位置により、主語の訳し方が変わります。“还是”は主語“你”の後に置かれると、主語を「主語は(あなたは)」と訳しますが、主語“你”の前に置かれると、主語を「主語が(あなたが)」と訳します。ここでは、“还是”と同じような使い方を持っている語句を取り上げます。

まず、副詞は“还是”以外に、“总是”“居然”“竟然”も挙げられます。例えば、

(3)a 不管发生什么情况，他总是冷静对应。

(どんなことが起きていても、彼はいつも冷静に対応します。)

b 因为他是名人，总是我去拜访他，他从不回访。

(彼は有名人なので、いつも私が彼を訪ね、彼が私を訪ねることはありません。)

“总是”は(3)aでは、主語“他”の後に置かれ、主語“他”を「彼は」と訳しますが、(3)bでは、主語“我”の前に置かれ、主語“我”を「私が」と訳します。

また、助動詞“应该”“得”も同じような使い方があります。例えば、

(4)a 母亲应该成为女儿成长过程中的导师。

(母は娘が成長していく過程の先生になるべきです。)

b 这些事都应该你干，我全替你做了。

(これらのことはあなたがやるべきですが、私が全部かわりにやりました。)

“应该”は(4)aでは、主語“母亲”の後に置かれ、主語“母亲”を「母は」と訳しますが、(4)bでは主語“你”の前に置かれ、主語“你”を「あなたが」と訳します。

さらに、複文の関連語句にこのような使い方が多く見られます。例えば、

(5)a 你是去，还是不去？(あなたは行きますか、それとも行きませんか。)

b 是你去，还是我去？(あなたが行きますか、それとも私が行きますか。)

(6)a 他不是不想去，而是没有时间去。

(彼は行きたくないのではなく、行く時間がないだけです。)

b 不是他不想去，而是父母不让他去。

(彼が行きたくないのではなく、ご両親が彼を行かせようとしないのです。)

例(5)の“是…，还是…”は選択疑問文を構成し、二つの選択肢からどちらを選択するかを尋ねています。(5)aのように、“是…，还是…”が主語の後に置かれる場合、二項目の主語とも「主語は」と訳しますが、(5)bのように、主語の前に置かれる場合、二項目の主語とも「主語が」と訳します。(6)も同様に説明ができます。選択複文の関連語句はこの二つのみならず、“或者…，或者…”，“要么…，要么…”，“不是…，就是…”，“与其…，不如…”も同じような使い方があります。

条件関係を表す複文の関連語句である“只有…，才…”もこの部類に入ります。

(7)a 你只有开车来接我，我才去。

(あなたは車で迎えに来てくれないと、私は行かない。)

b 只有你开车来接我，我才去。

(あなたが車で迎えに来てくれないと、私は行かない。)

“只有…，才…”の“才”は副詞なので、後ろの文の主語の後に置かれるのが決まりですが、“只有”は主語の後に置かれるか、主語の前に置かれるかによって、フォーカスを当てる部分が違います。“只有”は(7)aでは主語“你”の後に置かれているので、主語“你”を「あなたは」と訳し、(7)bでは主語“你”の前に置かれているので、主語“你”を「あなたが」と訳します。

累加関係を表す複文の関連語句である“不仅(不但)…，也…”も“只有…，才…”と同様、“不仅(不但)”の位置によってフォーカスを当てる部分が違います。

(8)a 他不仅英语说得好，汉语也说得很流利。

(彼は英語がうまく話せるだけではなく、中国語も流暢に話せます。)

b 不仅他英语说得好，小王也说得很流利。

(彼が英語をうまく話せるだけではなく、王さんも流暢に話せます。)

例(8)では、前文と後文が同一主語である場合、“不仅(不但)”は主語の後に置かれますが、前文と後文が異なる主語である場合、“不仅(不但)”は主語の前に置かれます。

以上、主語の後に置かれると、述語にフォーカスを当て、主語を「主語は」と訳し、主語の前に置かれると、主語にフォーカスを当て、主語を「主語が」と訳すという語句を取り上げました。なお、疑問表現“怎么”“为什么”“是不是”も同様です。

日本語の「は」と「が」の違いは中国語では多くは区別をつけることができないのです。例えば、「私は魯曉琨です。」と「私が魯曉琨です。」を中国語に訳すと、両方とも“我是魯曉琨。”口語ではストレスが置かれる部分によって区別を付けられるが、書面語では文脈によって理解するしかありません。しかし、今回挙げられた語句を用いる際は、その語句の文中における位置によって、「は」と「が」の違いを表現することができます。また、過去2回に取り上げられたように、主語(動作主)に“是”“来”“由”などのフォーカスマーカが付いている場合、「主語が」と訳します。このような「は」と「が」の中国語表現をはっきり認識してほしいです。

他们是做什么工作的？【さまざまな職業】

繪 張 恢  
文 『中国語の環』編集室



医生 yīshēng

医師，医者〈口〉“大夫 dàifu”

- 看病 kàn//bìng 病気を診る，診察する
- 病人 bìngrén 患者
- 手术 shǒushù 手術
- 内科 nèikē
- 外科 wàikē
- 牙科 yákē
- 量体温 liáng tǐwēn 体温を測る
- 打针 dǎ//zhēn
- 采血 cǎi//xiě
- 白衣天使 báiyī tiānshǐ 白衣の天使



护士 hùshi

看護師



司机 sījī

運転手

- 开车 kāi//chē 車を運転する
- 堵车 dǔ//chē 渋滞する
- 交通安全 jiāotōng ānquán 交通安全



教师 jiàoshī

教師，教員“老师 lǎoshī”

- 上课 shàng//kè 授業をする
- 点名 diǎn//míng
- 提问 tíwèn
- 留作业 liú zuòyè 宿題を出す



厨师 chúshī

料理人，コック

- 做菜 zuò cài 料理を作る
- 烤鸭 kǎoyā
- 饺子 jiǎozi
- 炒饭 chǎofàn
- 中国菜 Zhōngguó cài
- 日本料理 Riběn liàolǐ



警察 jǐngchá

警察官，警察

- 维护治安 wéihù zhì'ān 治安を維持する
- 逮捕犯人 dǎibù fànrén 犯人を逮捕する
- 交通警查 jiāotōng jǐngchá 交通巡査



### 律师 lǜshī

弁護士

- 辩护 biànhù 弁護する
- 原告 yuángào      ➢ 被告 bèigào
- 法院 fǎyuàn      ➢ 法庭 fǎtīng



### 画家 huàjiā

画家

- 画儿 huà huàr 絵を描く
- 素描 sùmiáo      ➢ 风景画 fēngjǐnghuà
- 国画 guóhuà      ➢ 西洋画 xīyánghuà



### 音乐家 yīnyuèjiā

音楽家、ミュージシャン

- 演奏 yǎnzòu      ➢ 指挥 zhǐhuī
- 拉小提琴 lā xiǎotíqín
- 弹钢琴 tán gāngqín
- 合唱 héchàng      ➢ 交响乐 jiāoxiǎngyuè



### 演员 yǎnyuán

俳優、役者

- 表演 biǎoyǎn 演技をする
- 戏剧演员 xìjù yǎnyuán
- 电影演员 diànyǐng yǎnyuán
- 主角 zhǔjué      ➢ 明星 míngxīng



### 舞蹈家 wǔdǎojiā

舞蹈家、ダンサー

- 跳舞 tiàowǔ 踊る, ダンスをする
- 表演舞蹈 biǎoyǎn wǔdǎo おどりを踊る
- 交际舞 jiāojìwǔ      ➢ 迪斯科 dísīkē



### 农民 nóngmín

農民

- 种地 zhòng/dì 耕作する
- 收割 shōugē      ➢ 丰收 fēngshōu
- 锄 chú      ➢ 犁 lí      ➢ 耕耘机 gēngyúnjī

訳語のない語句は辞書を引いて調べましょう。

## いじくられる三蔵法師

加藤 徹 (明治大学)

先日、大学の授業で、日本と中国の『西遊記』の違いをとりあげた。ある学生は「三蔵法師が男性とは知らなかった」と驚いた。私はそれに驚いた。が、考えてみれば無理もない。日本では1960年代以来、変てこな三蔵法師が多いからだ。

『西遊記』は「世代累積型集団創作」の作品だ。

唐の時代、高僧の玄奘 Xuán Zàng (げんじょう、602年 - 664年) はインドに渡り仏教を研究し、中国に帰還後は訳経事業に従事した。玄奘の死後、この史実をネタとしてフィクションの物語が生まれ、語り物や芝居に仕組まれた。16世紀、明の時代に成立した古典小説『西遊記』(《西游记》Xiyóuji) では、三蔵法師(中国のフィクション作品では“唐僧”Tángsēngと呼ばれる)が白馬に乗り、孫悟空、猪八戒、沙悟浄の3人の弟子をおともにして天竺へ取経の旅をする、という現在の物語の骨子が確立した。

日本人は早くから『西遊記』に注目した。徳川家康に仕えた僧侶・天海や儒学者・林羅山も、中国から輸入した小説『西遊記』の本を持っていた。明の小説『西遊記』は漢文ではなく白話(昔の中国語)で書かれている。日本人にはかえって読みづらい。江戸時代中期から日本語訳や翻案が刊行された。滝沢馬琴も『西遊記』の舞台を日本に置き換えた翻案作品を創作した。その際、沙悟浄にあたるキャラは、河童に置き換えられた。ちなみに、中国に河童という妖怪はいない。

玄奘は、日本仏教でも広く読誦される『般若心経』の翻訳者だ。昔の日本人は、玄奘をモデルとした三蔵法師というキャラにも一定の敬意を払った。戦時中に作られた日本映画『エノケンの孫悟空』でも、三蔵法師は重厚な人物として演じられている。

三蔵法師が変なキャラになるのは、戦後からだ。1967年のテレビ漫画(アニメ)『悟空の大冒険』で、三蔵の声をあてた野沢那智はわざと「オネエ言葉」を使った。1972年に週刊『少年チャンピオン』で連載された吾妻ひでおのドタバタSF漫画『きまぐれ悟空』の三蔵は、黒メガネとハゲ頭が特徴の太った男で、横暴で女好きの三流スパイ。1978年の小島功の漫画『コオ釈西遊記』の三蔵は、セクシーな女性。同じ1978年のテレビドラマ『西遊記』で三蔵を演じたのは、女優の夏目雅子。昭和の後半から、日本の『西遊記』系作品では、中国人が見たらビックリする変な三蔵法師が続々と登場し、今日に至っている。

意外なことに、孫悟空の基本的性格は、過去数百年のあいだ、日本でも中国でもほとんど改変されていない。その理由を研究して考察すると、いろいろ面白いことがわかるのだが、紙数の関係でそれは別の機会にする。

ちなみに、中検の公式キャラも三蔵法師一行です。

## 中国語の形容詞命令文(3)

王 志英 (沖縄大学)

## 3. 動詞の連用修飾語としての形容詞命令文

「形容詞の命令文」は動詞を省略した命令・依頼文のことである。形容詞自体には描写作用が弱く、動作の有様を修飾する語として、機能できていないため、“形容詞+動詞”の形で使われることは少ないようで、“多, 少, 早, 晚, 迟, 快, 慢, 难”などのような形容詞しか使えない。

(1) 慢走。(気をつけてください。)

(2)\* 你今天早回家。

“形容詞+一点儿”は比較するという働きを持ち、動作の有様を修飾・描写する機能が増強されたため、単独の形容詞より少し自由に連用修飾語として使われる。

(3) 你今天早一点儿回家。(きょうは少し早く帰宅してください。)

中国語の形容詞は単独で、描写性が欠如しているが、形容詞の重ね型は、動作の有様を生き生きと描く機能を持つため、連用修飾語としてよく使われる。

(4) 悄悄地, 别把孩子吵醒了。(静かに。子供を起こさないで。)

## 4. 動詞の結果補語・様態補語としての形容詞命令文

形容詞が動詞の結果補語として使われる場合、形容詞の後に“一点儿”をつける場合とつけない場合とがある。“一点儿”がつけられる形容詞は、その内部に段階性が存在していることが認められ、程度のスケールに基づく複数の段階が想定できる。形容詞がどちらの属性を持つかは、動詞との組み合わせにも関係する。

(5) ? 大家坐好一点儿。

(6) 你把字写好一点儿。(字をもうちょっときれいに書きなさい。)

“好”は“坐”と一緒にであれば、「到達点」の属性しか持たず、“写”と一緒にであれば、きれいな字とは何か、それを判断するには個人差があり、程度の段階性が認められる。

(7)a 把眼睛睁大。(目を大きく開けて。)

b 把眼睛睁大一点儿。(目をもうちょっと大きく開けて。)

(8)a\* 把饺子包大。

b 把饺子包大一点儿。(餃子を少し大きめに作ってください)

(7)のaは「目を開く」という事態に限界性があり、「到達点」を持っている。(8)のaの“大”には限界性がないため、“包”の結果としては意味的に不明瞭である。形容詞を動詞の様態補語として依頼文に使うことができる。

(9) 把问题提得具体一点儿。(もう少し問題を具体的に出示してください。)

形容詞を重ねた形で、相手に最大限に要求する場合は、次の言い方をする。

(10) 给我站得直直的。(真直ぐ立ってください。)

## “往右拐”をもう一度

上田 真司

麗らかな陽光が射し込む教室で、当時、大学生だった私は中国語の授業に出ていた。

“你顺着这条路直走，走到十字路口的时候往右拐…”（この道を真っ直ぐ行って、十字路のところで右に曲がって…）とテキストの例文を先生の後に続いて読んでいた。道を教えるというテーマの会話形式の例文であり、テキスト是北京語言学院（当時）編であったと思う。私は“往右拐”と口ずさみながら、心の中で「はあ～、やれやれだよ。“往右拐”“往右拐”って、この先ずっと日本に住んでいて、いつこんな例文を使う機会があるのさ！先生も出版社も、もうちょっとリアリティのある例文を用意してほしいよ」と窓の外の景色を見ながら一人、毒づいていた（なぜか、ちびまる子ちゃん口調で）。日本に多くの中国人観光客が押し寄せるようになるよりも前の話である。

卒業後、私は仕事で海外の顧客を日本にお招きするプロジェクトの末端に加わるようになった。招聘期間中の夕方、ホテルのレセプション会場で準備をしていると、私の携帯電話が鳴った。中国人のお客さんからである。

客人は日本語があまりできないので、私は中国語で対応することになった。話を聞いてみると、レセプションが始まるまでの間、ホテルの近くを散策しているうちに道に迷ったようである（まだ、ネットやスマホが普及する前のことである）。話の内容から、客人は、割と近くにいることがわかった。私は自信がなかったものの、電話で会場までの誘導を試みることにした（地上の基地から月面の宇宙飛行士に指令する心地であった）。

私はしどろもどろになりながら、“…你沿着左边的公园直走，走到第二个红绿灯时往右拐”（…公園を左に見ながら真っ直ぐ行って、二番目の信号のところで右に曲がって…）そう言って、私は心の中で叫んだ。（今、オレ，“往右拐”って言った?!）

この場を借りて、当時の先生と語言学院にお詫びします。確かに使いました，“往右拐”。

結局、学生時代の勉強不足が祟ったのか、電話誘導をし損ねた私は、“我现在就去接你，你就在那儿等着我！”（いま迎えに行きますから、そこで待っててください！）と電話の相手に言うと、夕闇迫る街に駆け出した。

もし、タイムマシンがあるならば、私はターミネーターのように（ちょっと古い?）、授業中、ぼんやりと窓の外を見ているかつての自分の前に降り立って、こう告げたい。

「お前は未来でもう一度，“往右拐”と言う（結構、近い未来で）！」